

# 数 学

## 注 意

- 1 問題は **1** から **4** までで、7 ページにわたって印刷してあります。  
また、解答用紙は両面に印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午前 11 時 00 分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に HB 又は B の鉛筆 (シャープペンシルも可) を使って  
明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えに根号が含まれるときは、根号を付けたまま、分母に根号を含まない  
形で表しなさい。また、根号の中を最も小さい自然数にしなさい。
- 6 円周率は  $\pi$  を用いなさい。
- 7 答えは、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 8 答えを直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、  
新しい答えを書きなさい。
- 9 受検番号を解答用紙の表面と裏面の決められた欄に書き、表面については、  
その数字の  の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 10 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕  $\frac{1}{\sqrt{2}} \{(2\sqrt{2}-1)^2 + (2\sqrt{2}-1)\}$  を計算せよ。

〔問2〕 連立方程式  $\begin{cases} 13x+7y=23 \\ 7x+13y=17 \end{cases}$  を解け。

〔問3〕  $a$  を自然数とする。

7個の数  $a, 2, 2, 5, 7, 8, 9$  の平均値と中央値が一致するとき、第3四分位数となり得る数を全て求めよ。

〔問4〕 右の図1で、点Aは、円周を12等分した点のうちの1つである。

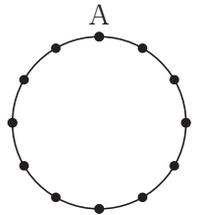
1から6までの目が出るさいころと、1, 2, 3, 4, 5の数字を1つずつ書いた5枚のカード①, ②, ③, ④, ⑤がある。

さいころを1回投げ、出た目の数を  $a$ 、カードを1枚取り出し、書いてある数を  $b$  とする。

図1において、円周を12等分した点を点Aから時計回りに  $a$  個分進んだ点をB、点Bから時計回りに  $b$  個分進んだ点をCとすると、 $\angle ABC = 60^\circ$  となる確率を求めよ。

ただし、さいころのどの目が出ることも同様に確からしく、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

図1



〔問5〕 右の図2で、点A、点Bは、ともに直線  $\ell$  上にない点である。

解答欄に示した図をもとにして、直線  $\ell$  上にあり、 $\angle APB = 120^\circ$  となる点Pを1つ、定規とコンパスを用いて作図し、点Pの位置を示す文字Pも書け。

ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。

図2



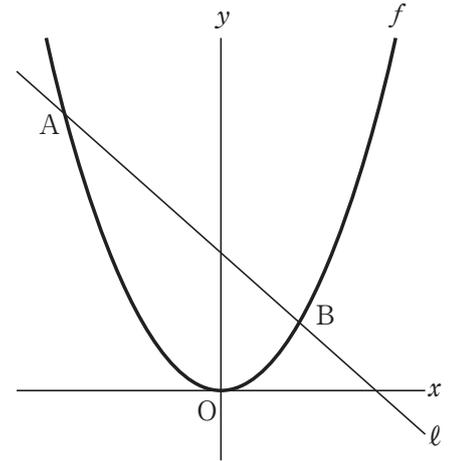
2 右の図1で、点Oは原点、曲線 $f$ は関数 $y=ax^2(a>0)$ のグラフ、直線 $l$ は一次関数 $y=bx+c(c>0)$ のグラフを表している。

曲線 $f$ と直線 $l$ との2つの交点のうち、 $x$ 座標が負の数である点をA、 $x$ 座標が正の数である点をBとする。

原点から点(1, 0)までの距離、および原点から点(0, 1)までの距離をそれぞれ1 cm とする。

次の各問に答えよ。

図1

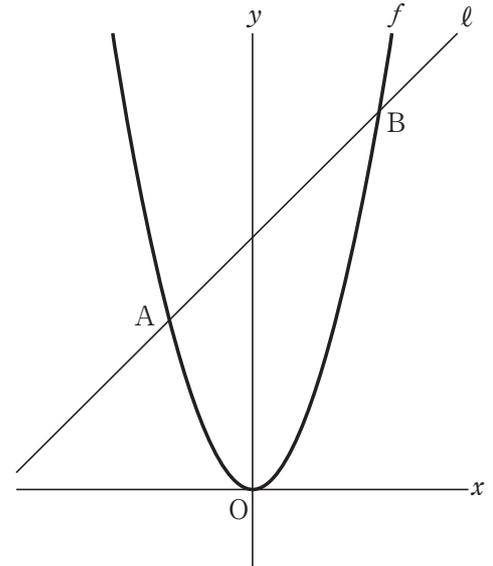


[問1] 関数 $y=ax^2$ について、 $x$ の変域 $-2 \leq x \leq 3$ に対する $y$ の変域が $0 \leq y \leq 4$ であるとき、 $a$ の値を求めよ。

[問2] 右の図2は、図1において、 $a=\frac{1}{2}$ 、 $c=12$ の場合を表している。

点Aの $x$ 座標が $-4$ のとき、直線 $l$ を、 $x$ 軸を対称の軸として対称移動した直線の式を求めよ。

図2

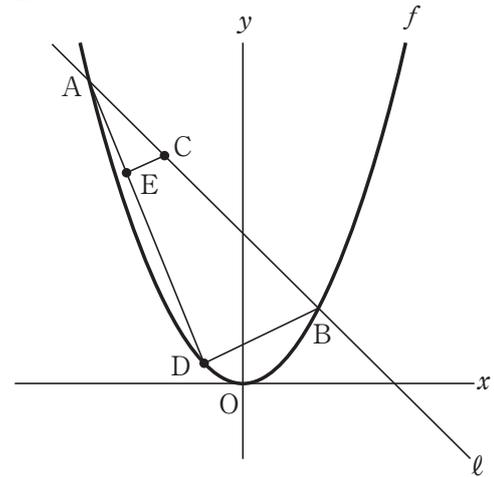


〔問3〕 右の図3は、図1において、 $a=1$ 、点Aの $x$ 座標が $-2$ 、点Bの $x$ 座標が1のとき、線分AB上にある点をC、曲線 $f$ 上にあり $x$ 座標が $-2$ より大きい負の数である点をDとし、点Aと点Dを結び、線分AD上にある点をEとし、点Bと点D、点Cと点Eをそれぞれ結んだ場合を表している。

$AC:AB=1:3$ 、 $BD\parallel CE$ 、四角形BCEDの面積が $\frac{56}{27}\text{cm}^2$ のとき、点Dの座標を求めよ。

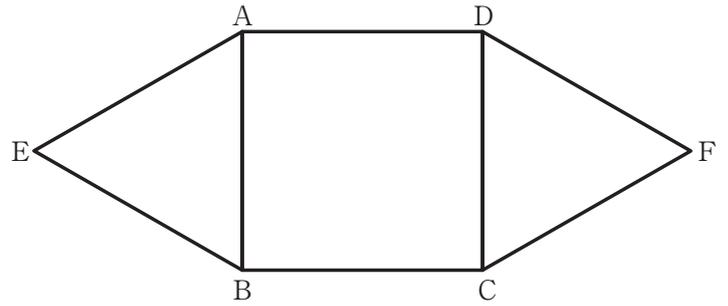
ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

図3



- 3 右の図1で、四角形 ABCD は  
1 辺の長さが 2 cm の正方形、 $\triangle AEB$  は  
頂点 E が四角形 ABCD の外部にある  
正三角形、 $\triangle CFD$  は頂点 F が四角形 ABCD  
の外部にある正三角形で、四角形 ABCD、  
 $\triangle AEB$ 、 $\triangle CFD$  は全て同じ平面上にある。  
次の各問に答えよ。

図 1



- [問 1] 図 1 において、頂点 A と頂点 F、頂点 E と頂点 F をそれぞれ結んだ場合を考える。  
 $\angle AFE$  の大きさは何度か。

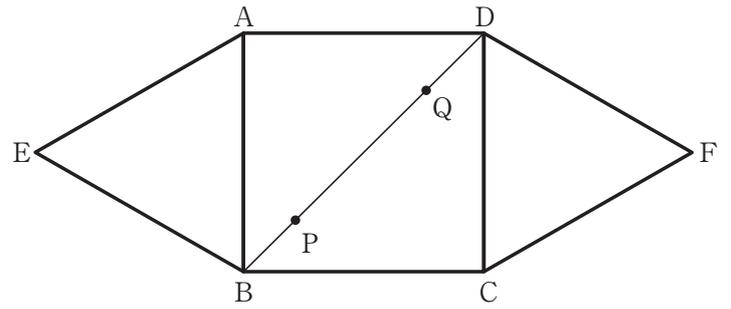
〔問2〕 右の図2は、図1において、

頂点Bと頂点Dを結び、線分BD上にあり、頂点B、頂点Dのいずれにも一致しない点をP、線分DP上にあり、頂点D、点Pのいずれにも一致しない点をQとした場合を表している。

頂点Eと点Q、頂点Fと点Pをそれぞれ結んだ場合を考える。

$BP = DQ$  のとき、次の (1)、(2) に答えよ。

図2



(1)  $\triangle BQE \equiv \triangle DPF$  であることを証明せよ。

(2) 頂点Eと点Pを結んだ場合を考える。

$BP = DQ = \frac{\sqrt{2}}{2}$  cm のとき、 $\triangle EPQ$  の面積は何  $\text{cm}^2$  か。

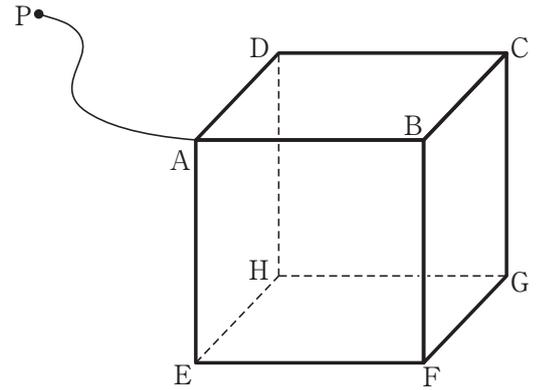
4 右の図1で、立体 ABCD-EFGH は1辺の長さが4 cm の立方体である。

点Pは、頂点Aと長さ $a$  cm のひもでつながっており、立体 ABCD-EFGH の外部および全ての面、全ての辺上をひもが届く範囲で動く点である。

ただし、頂点Aと点Pをつなぐひもは伸び縮みせず、太さは考えないものとする。

次の各問に答えよ。

図1



〔問1〕  $a=4$  の場合を考える。

次の (1), (2) に答えよ。

(1) 頂点Gと点Pを結んでできる線分GPが最も長くなるときの線分GPの長さは何cmか。

(2) 点Pが動き得る部分の体積は何 $\text{cm}^3$ か。

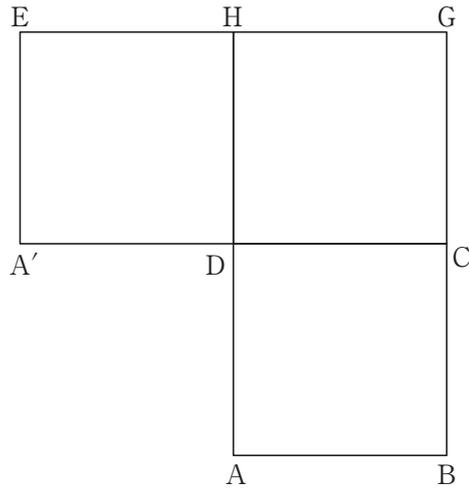
〔問2〕  $a=4\sqrt{2}$  の場合を考える。

四角形 CDHG の辺上または内部において、点 P が動き得る部分の面積は何  $\text{cm}^2$  か。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、解答欄に示した図を用いて、途中の式や説明なども書け。

なお、下の図2および解答欄に示した図は、立体 ABCD-EFGH の展開図の一部であり、立体 ABCD-EFGH において、頂点 A と一致する点を  $A'$  としたものである。

図2



# 解答用紙 数学

## マーク・解答上の注意事項

- 1 受検番号欄は、HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 記入した内容を直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 3 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例		
	線	小さい	はみ出し
	丸囲み	レ点	うすい

受 検 番 号						
○	○	○	○	○	○	○
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

1	
〔問1〕	
〔問2〕	$x =$ , $y =$
〔問3〕	
〔問4〕	
〔問5〕	【 作 図 】

2	
〔問1〕	
〔問2〕	$y =$
〔問3〕	【 途中の式や計算など 】

(答え) ( , )

解答用紙 数学

受 検 番 号					

3		
〔問1〕		度
〔問2〕	(1)	【 証 明 】
〔問2〕	(2)	cm <sup>2</sup>

4		
〔問1〕	(1)	cm
〔問1〕	(2)	cm <sup>3</sup>
〔問2〕	【 途中の式や説明など 】	
(答え)		cm <sup>2</sup>

# 正答表 数学

## マーク・解答上の注意事項

- 1 受検番号欄は、HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 記入した内容を直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 3 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例		

\* 受検番号欄は裏面にもあります。

受 検 番 号						
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○

(7-国)

1	
〔問 1〕	$4\sqrt{2} - 2$
〔問 2〕	$x = \frac{3}{2}, y = \frac{1}{2}$
〔問 3〕	8, 9
〔問 4〕	$\frac{2}{15}$
〔問 5〕	【 作 図 】

2	
〔問 1〕	$\frac{4}{9}$
〔問 2〕	$y = -x - 12$
〔問 3〕	【 途中の式や計算など 】

$x = -2, x = 1$  をそれぞれ  $y = x^2$  に代入すると、  
 $y = (-2)^2 = 4$        $y = 1^2 = 1$   
 よって、点 A の座標は  $(-2, 4)$ 、点 B の座標は  $(1, 1)$   
 直線 AB の傾きは、 $\frac{1-4}{1-(-2)} = -1$   
 したがって、直線 AB の式は  $y = -x + c$  とおける。  
 この式に  $x = 1, y = 1$  を代入すると  $c = 2$   
 よって、直線 AB の式は  $y = -x + 2$   
 $AC : AB = 1 : 3$ 、  
 $CE \parallel BD$  より、 $\triangle AEC \sim \triangle ADB$  で、相似比は  $1 : 3$   
 よって、 $\triangle AEC : \triangle ADB = 1^2 : 3^2 = 1 : 9$   
 四角形 CEDB の面積は  $\triangle ADB$  の面積の  $\frac{8}{9}$  倍であるから、  
 $\triangle ADB = \frac{56}{27} \div \frac{8}{9} = \frac{7}{3}$   
 $-2 < s < 0$  とし、点 D の座標を  $(s, s^2)$  とする。  
 点 D を通り  $y$  軸に平行な直線と、  
 直線 AB との交点を F とすると、点 F の座標は、  
 $(s, -s + 2)$   
 したがって、 $DF = -s + 2 - s^2$   
 よって、 $\triangle ADB$  の面積について、  
 $\frac{1}{2} \times (-s + 2 - s^2) \times (1 + 2) = \frac{7}{3}$   
 $9s^2 + 9s - 4 = 0$   
 解の公式により、  
 $s = \frac{-9 \pm \sqrt{9^2 - 4 \times 9 \times (-4)}}{2 \times 9} = \frac{-9 \pm 15}{18} = -\frac{4}{3}, \frac{1}{3}$   
 $-2 < s < 0$  であるから、 $s = -\frac{4}{3}$   
 したがって、点 D の座標は  $(-\frac{4}{3}, \frac{16}{9})$

(答え)  $(-\frac{4}{3}, \frac{16}{9})$

受検番号						

<b>3</b>		
〔問 1〕	15 度	
〔問 2〕	(1)	【 証 明 】
<p>△ BQEと△DPF において,                  合同な正三角形の1辺であるから, <math>BE = DF</math> ……①  <math>\angle EBQ = \angle FDP = 105^\circ</math> ……②  <math>BP = DQ</math> のとき,  <math>BQ = BD - DQ</math>  <math>= BD - BP</math>  <math>= DP</math> ……③                  よって, ①, ②, ③より,                  2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから,  <math>\triangle BQE \equiv \triangle DPF</math></p>		
〔問 2〕	(2)	$\frac{1+\sqrt{3}}{2}$ $\text{cm}^2$

<b>4</b>		
〔問 1〕	(1)	$4 + 4\sqrt{3}$ $\text{cm}$
〔問 1〕	(2)	$\frac{224}{3}\pi$ $\text{cm}^3$
〔問 2〕	【 途中の式や説明など 】	
<p>上の図の色の付いた部分の面積を求めよ。                  上の図のように△AIA'をかくと,                  △AIA'は正三角形である。                  よって, おうぎ形ACIの中心角は<math>30^\circ</math>である。</p>		
<p>色の付いた部分の面積は,                  おうぎ形ACI×2 + △AIA'  <math>- \triangle ACD \times 3</math>  <math>= (4\sqrt{2})^2 \times \pi \times \frac{30}{360} \times 2 + \frac{\sqrt{3}}{4} \times (4\sqrt{2})^2</math>  <math>- \frac{1}{2} \times 4 \times 4 \times 3</math>  <math>= \frac{16\pi}{3} + 8\sqrt{3} - 24</math></p>		
(答え) $\frac{16\pi}{3} + 8\sqrt{3} - 24$ $\text{cm}^2$		